

# 松下幸之助経営塾

**[第十期] 2015年2月開講**

**特別講師**

※肩書きは、2015年4月時点のものです



**佐久間 昇二** (さくま・しょうじ) **ぴあ株式会社 社外取締役**

1931年、新潟県生まれ。54年、大阪市立大学経済学部を卒業。56年、同大学院経営学研究科修了後、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。83年、同社取締役・経営企画室長。86年、同社専務取締役。87年、同社取締役副社長。93年より株式会社WOWOW(当時は日本衛星放送)代表取締役社長に就任。以来、徹底したコスト管理と営業強化によって、倒産すら危ぶまれていた同社を再建に導く。社員に対しては、逆境こそ攻めの好機であると説く。同社の入社案内(97年)は、「ふつうの人生を送りたかったら、WOWOWだけはやめておきなさい」の言葉で始まり「それでもWOWOWでやりたい、キミを待つ」で終わっている。2001年より、同社代表取締役会長を務め、06年6月より、取締役相談役。08年6月より、ぴあ株式会社社外取締役(現任)。14年6月、日本テレネット株式会社相談役。



**渡邊 幸義** (わたなべ・ゆきよし) **アイエスエフネットグループ 代表**

1963年、静岡県生まれ。86年、武蔵工業大学機械工学科(現、東京都市大学)を卒業。同年、日本デジタルイクイップメント株式会社(現、日本ヒューレット・パッカード)入社。株式会社エヌ・アンド・アイ・システムズ代表取締役副社長を経て、2000年、株式会社アイエスエフネットを設立し、代表取締役社長に就任。「雇用の創造」をグループの大義に標榜し、履歴書の過去にこだわらず意欲を基準に社員を採用することを実践。就労困難者への雇用にも積極的に取り組みながら利益を出し続けている。著書に『「未来ノート」で道は開ける!』(2008年・マガジンハウス)、『社員みんながやさしくなった—障がい者が入社してくれて変わったこと』(2010年・かんき出版)、『雇用創造革命』(2012年・ダイヤモンド社)、『会社は家族、社長は親』(坂本光司氏との共著、2011年・PHP研究所)などがある。



**前原 金一** (まえはら・かねいち) **公益社団法人経済同友会 副代表幹事・専務理事**

1944年、岐阜県生まれ。66年、東京大学経済学部を卒業。同年、住友生命保険相互会社に入社。企画調査部長、金融法人部長等を経て96年、常務取締役に就任。98年、住友生命総合研究所代表取締役社長に就任し、2002年に取締役会長。同年、昭和女子大学の理事に就任し、04年から10年まで副理事長を務める。98年、経済同友会に入会し2000年から幹事を務め、10年4月から現職。経済同友会では、構造改革・経済対策・教育・金融問題等々の委員長として活動。その他、内閣府官民競争入札等監視委員会委員長代理、文部科学省国立大学法人評価委員会委員、日弁連法務研究財団認証評議会評議員などを歴任。著書に、『21世紀の生命保険産業』(2000年・金融財政事情研究会)などがある。



## 瀬戸 薫 (せと・かおる) ヤマトホールディングス株式会社 取締役相談役

1947年、神奈川県生まれ。70年、中央大学法学部卒業後、大和運輸(現ヤマトホールディングス)入社。当時の社長・小倉昌男氏のもとで「宅急便」の開発に携わり、徹底的に需要者の立場に立って考える小倉流経営哲学を学ぶ。北九州主管支店長を経て、87年、本社営業推進部宅急便課長に就任し、「クール宅急便」の開発を手がける。人事部労務課長、中国支社長などを経て、99年、取締役関西支社長。2003年、取締役人事部長に就任し、常務執行役員を経て、06年、ヤマトホールディングス社長。11年、会長に就任し、15年より現職。著書に『クロネコヤマト「個を生かす」仕事論』(2013年・三笠書房)。



## 谷井 昭雄 (たにい・あきお) パナソニック株式会社特別顧問、元社長

1928年、大阪生まれ。48年、神戸工業専門学校(現・神戸大学工学部)精密機械科を卒業。敷島紡績(現・シキボウ)、東洋金網(現・トーアミ)を経て、56年、松下電器産業(現・パナソニック)に入社。70年、録音機事業部長代理(のち、事業部長)、72年、ビデオ事業部長を経て、79年に取締役就任。その後、常務、専務、副社長を経て、86年、山下俊彦社長に代わり第4代社長に就任。93年に相談役、2003年に特別顧問に就任し現在に至る。また、公益財団法人霊山顕彰会特別顧問、特定非営利活動法人大阪府日本中国友好協会会長、日中経済貿易センター名誉会長、日本ボーイスカウト大阪連盟顧問などを務める。



## 岩井 虔 (いわい・けん) 株式会社PHP研究所 客員

1936年、満州ハルビン生まれ。千葉県、徳島県で育つ。58年、京都大学教育学部卒業ののち、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。61年、株式会社PHP研究所へ出向し、研究、編集、国際、研修部門を担当する。92年、同研究所専務取締役・研修局長を経て、97年に退任。同研究所顧問を経て、2009年より、現職。PHP研究所の所長であった松下幸之助に、28年間直接薫陶を受けつつ職務を担当。特にここ三十数年は、PHPゼミナールなど、主として企業人のための研修、講演に携わっている。著書に、『そう考えると楽ですね～松下幸之助との日々』(2006年・PHP研究所)。